



スク水統計

2011 スク水自由作品コンテスト出品作品

執筆：牧田翠

印象なんてくだらないぜ！ 俺の統計データを聞けエエエ！

どうも！統計やってるけど引き算の暗算ができない方、牧田翠です。
今回はエロマンガシリーズ番外編・スク水統計です。エロマンガに登場する『スクール水着』について、統計的に分析をいたします。

スクール水着に対する思い、愛着は人それぞれ。旧スクと新スクの違いで5時間は語れる人、ロリコン！変態！と罵る人、色々あるでしょう。ですが、誰もデータを持っていません。スクール水着とはなんなのか、個人の感想として語れても、何かを代表して語れる人はいないでしょう。

ということで、統計の出番です。統計とは、すなわち膨大なデータを要約し、実態を見やすくするもの。エロマンガにおいて描写されるスクール水着がどのような物か、データを提示したいと思います。

……この統計ですら、「ある一定時期に販売された、一部のエロマンガ雑誌を個人がまとめたもの」ですので、全世界を代表する、などということは口が裂けても言えません。それでも、今まで誰もまとめていないデータを世に出すことで、皆様に色々と考えていただけるきっかけになるのではと思い、執筆しました。

統計の楽しさを、面白さを味わっていただければと思います。数式などは出てきませんので、のんびりと統計エンターテイメントを味わってください。

エロマンガ統計 シリーズコンセプト

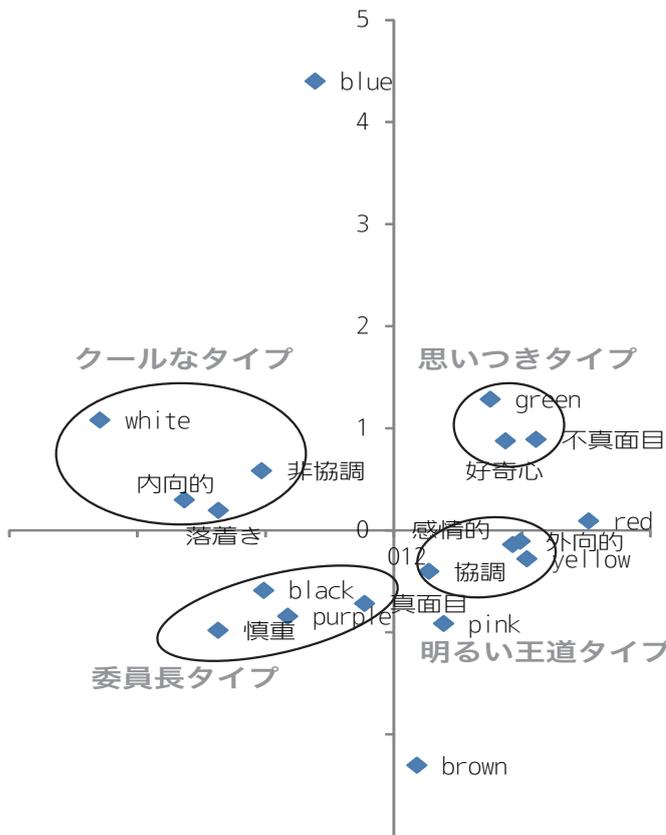
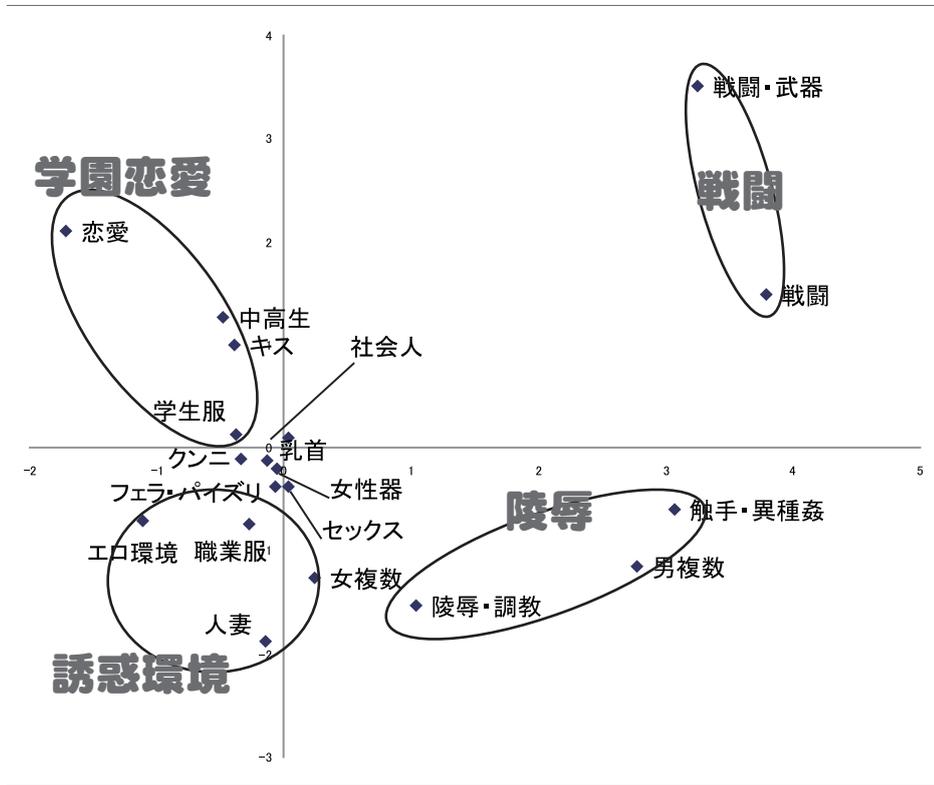
エロをデータでズバっと閲覧
ゆるめの統計エンターテイメント!

エロマンガ統計シリーズはおかげさまで8冊刊行できています。全体を貫くコンセプトは「**印象論で語られがちなエロに関わる物について、数字を提示する**」「**基本的に数式を使わず、誰でも楽しめる統計エンターテイメント**」の2つです。

例えば、右ページ上のグラフは、第5作・エロゲ統計において、どんなストーリーが展開されるかを分析した結果です。なんとなく近いデータを見ていただければわかるのですが、恋愛が描かれる作品ではキスがあり、触手が描かれる作品では男が複数になりやすいなど……そういったことがわかります。世間的に、エロゲーには泣きゲー、抜きゲー、鬱ゲー、萌えゲー、燃えゲーなど多種多様なジャンル分けがありますが、**統計データの的には、暴力なし・性描写なしの純愛系、暴力なし・性描写ありの和姦系、暴力あり・性描写なしのバトル系、暴力あり・性描写ありの陵辱系の2軸による4分類が可能である**、ということが見えてきます。

また、舌のグラフはエロゲ統計2において、ヒロインの髪の色と性格分類について分析した物です。白髪だと内向的で協調性がないとか、緑髪は好奇心が強くて不真面目、黒髪は真面目で慎重……などなど、なんとなく直感ではわかっている現象を、こうしてデータとしてまとめていくのがエロマンガ統計シリーズです。

今回は、**エロマンガ15誌245作品、4828ページ**を分析しました(調査対象の雑誌については最後のページに載せてあります)。全般的なデータの分析については、エロマンガ統計R&Sで行っていますが、今回はそれと同じデータから「スクール水着」に特化して、分析を行おうと考えています。ひとつのフェティッシュを掘り下げていった時、それはエロマンガの世界においてどのような形で出現するのか、またスクール水着というアイテムがエロマンガでどのような役割を果たしているのか、そういったことを明らかにして、皆様にお伝えしたいと考えています。



単 純 集 計 ①

学 生 服 類 の 登 場 率

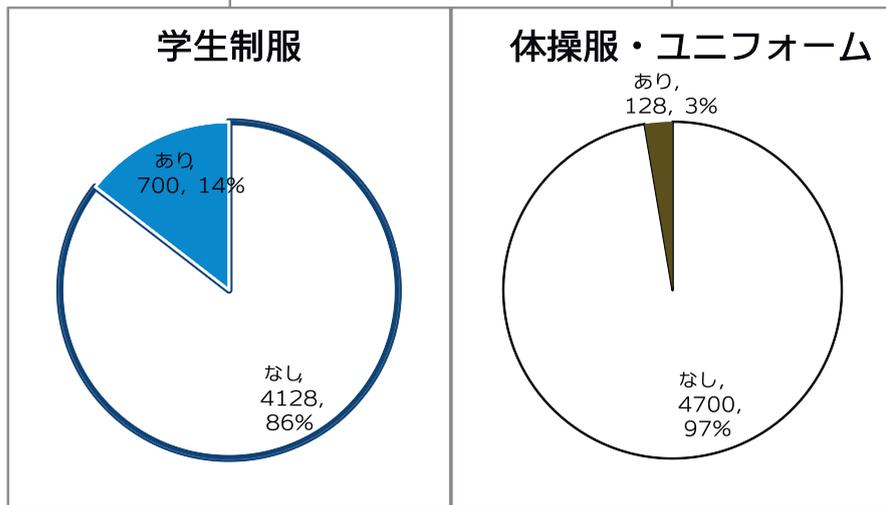
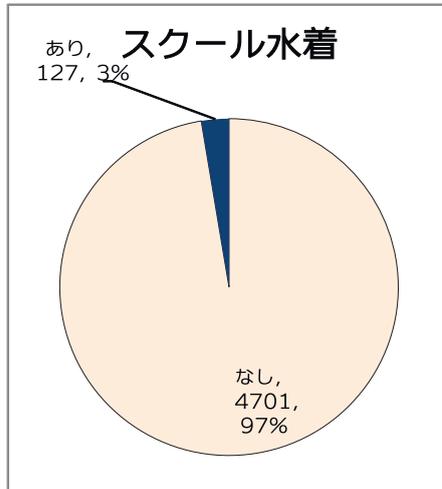
ちっ……登場率たったの3%か……
スクール水着はマイナーですか？

さて、いきなり衝撃の事実ですが、**スクール水着は全 4828 ページ中、127 ページにしか登場していません**。なんと 3% です。……逆に考えれば、調査対象となった雑誌の発行が 2 月ごろですので、冬の時期に、夏の風物詩であるスク水を題材にしたマンガが 3% もあったというのは多いと言えるのかもしれませんが。この仮説を確かめるためには、夏のエロマンガを買って確かめる他ないですが……さすがにそこまでの時間がないので今回は割愛させていただきます。

ではライバル(?)たる制服(セーラー服・ブレザー等)、体操服の登場率も見たいと思います。体操服についてはほぼスクール水着と同程度の登場率で、制服はかなり多い、という形ですね。特に制服はわかりやすく学生という身分を示せるアイテムですので、シチュエーションが限定されるスクール水着よりも多く出現するのは当然でしょう。スクール水着は基本的にプールまたは更衣室という限られた場面で描かれるものですが、制服は学校だけではなく路上、電車内などでも自然に描くことができるので、その差異が現れたのではないかと思います。

これら制服 + スク水 + 体操服のいずれかが登場する率は 20%(947 コマ)でした。右ページ下の表は学生服の描写の有無と、その作品内に登場する性行為をするキャラの年齢層との関係を示した表で、**赤字**が他よりも出現率が明らかに低いところ、**青字**が出現率が高いところ、となっています。(※有意率 1% 基準の残差分析結果です。)見ていただければわかるように、やはりスク水等を含む学校用衣装が登場する作品では、女子中高生が多く登場する結果が見えます。このことから**学生用の服は学生であることを端的に表し、付随する若さ・弱さ・処女性などを表現している手段になっている**のだと思われます。

また、男性キャラは制服と接触する可能性の高い中高生・教師という身分が多いと言ったことが見えてきます。当たり前のことかと思うかもしれませんが、当たり前のことを数字で示す、ということも統計のひとつの役割なのです。



学生服	女・小学生以下	女・中高生	女・大学生	女・社会人	女・教師
なし	15.9%	18.7%	19.9%	36.0%	9.5%
あり	10.4%	71.6%	2.7%	8.8%	6.6%
全体	14.7%	29.7%	16.3%	30.4%	8.9%

学生服	男・小学生以下	男・中高生	男・大学生	男・社会人	男・教師
なし	8.5%	30.6%	21.1%	35.1%	4.6%
あり	4.4%	61.8%	2.2%	18.6%	12.9%
全体	7.6%	37.4%	17.0%	31.5%	6.4%

単純集計 ②

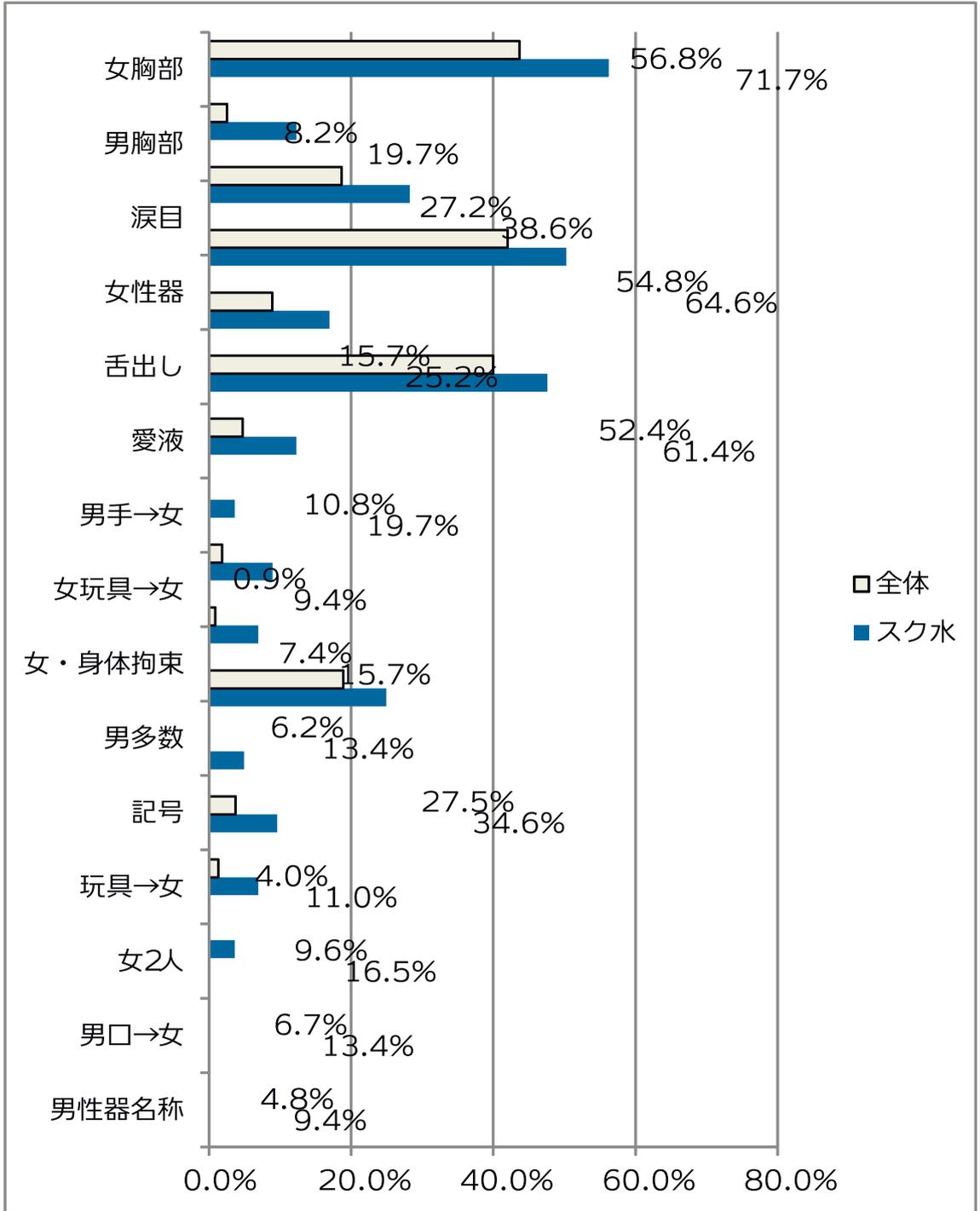
描かれやすいもの

スク水娘は逃げだせない！
スク水はおっぱいと相性の良い服装

さて、続いては「スク水の特徴として描かれやすい描写」を調べるために、全体の描写率平均とスク水の出ているページの描写率の平均を比較し、差が大きい純に並べました。

一番差が大きかったのは男女ともに胸部。男性の胸部はなかなか描かれにくい物ですが、スク水が登場するシーンはプールなどの施設であることが考えられ、男性も水着姿で登場しているため、このように全体平均よりも高い平均だと考えられます。女性胸部、そして女性器の描写率の高さについては、おそらくスクール水着が肌の上に直接着る服装だから、というのもあると思われます。**スク水はちょっと脱がすだけでそういった「大事な部分」が見えてしまうという特性**を活かして、脱ぎかけ状態の視覚的効果……視覚的なエロさを楽しむためだと思われます。

また、涙目・身体拘束・男多数などのカテゴリーが描かれています。ここから、**スクール水着は「受け」の服装**であることが見えてきます。能動的に行動する、というよりも、相手を受け入れていく傾向が見られます。男手→女や、男口→女といったカテゴリーにおいても全体の平均より高く、女性が受けに回っているということがよくわかりますね。このような結果が出た理由を考察していくと、まず第一に考えられるのが若い・若いキャラクターに対する攻め、という形でしょう。学生の服装は処女性を示していると先述しましたが、**学生の服装を着たキャラクターの処女性を剥いでいくストーリーが展開されている**と考えられます。また、スク水そのもの自体が他の服装に比べてもやや攻められやすい服装であります。つまり**活動場所が基本的にプール等に限定され、ある意味「逃げ場がない」のがスク水**という服装の特徴なのではないでしょうか。逃げ場がないところで攻められていく、というストーリーが想像できます。おそらく他の衣装に比べて、そういった傾向が出やすいのではないかと推測します。……この推測については、また後ほど検討いたします。



単純集計 ③

描かれにくいもの

スク水にゃんぺろぺろお!!
お尻よりもお腹に魅力がある?

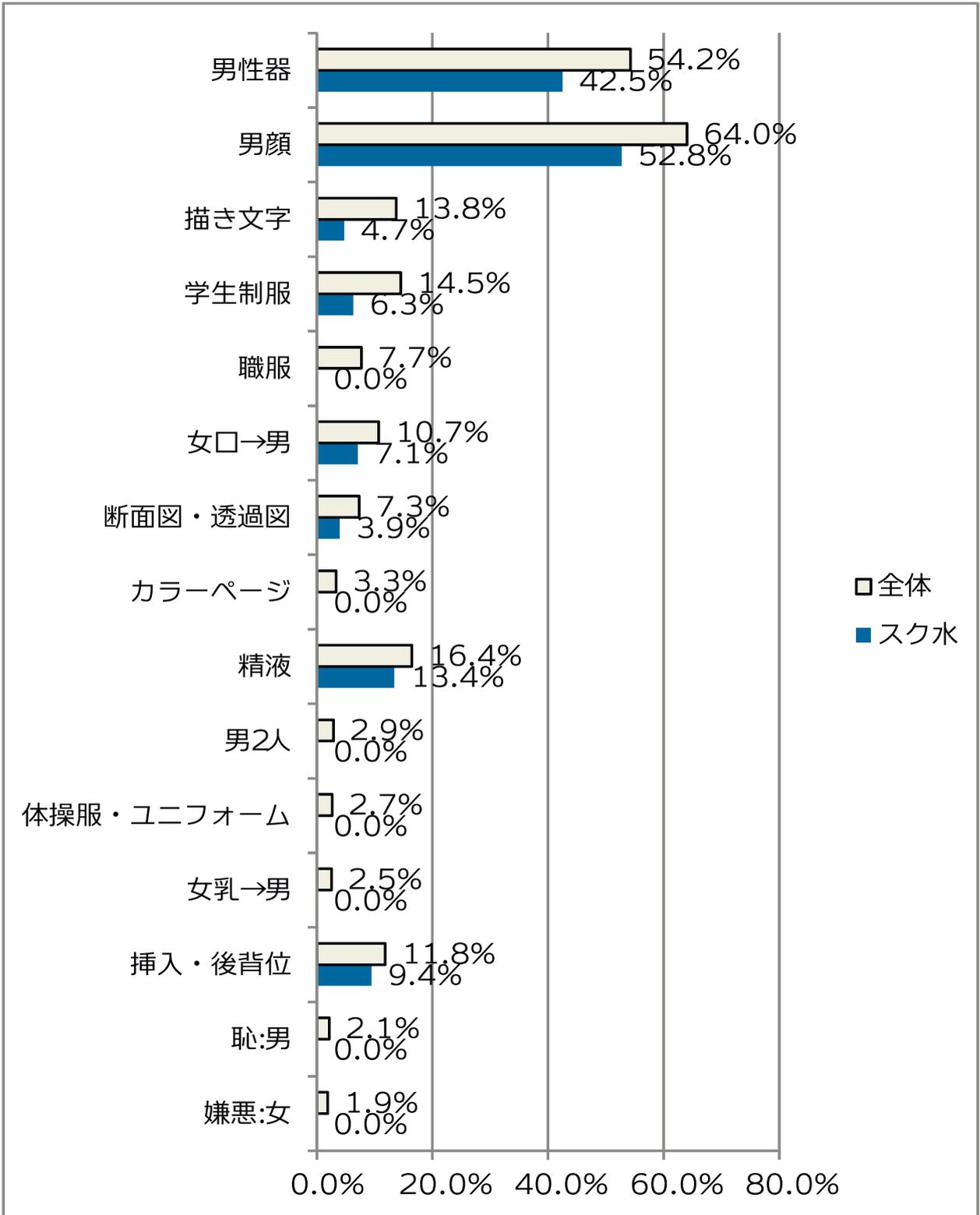
それでは引き続いて、描かれにくい描写についての集計結果です。やはり全体平均と比べて、差が大きい純に並べてあります。

まず大きな差があったのが男性器&男の顔。男性キャラクターの顔は個性を示すものであり、逆に言えば顔が描かれない = 誰か「男」という曖昧な存在が描かれていると考えられます。エロゲ的主人公と言いますか、顔を描かないことで、女性キャラに注目させるという効果が高くなります。また、男性器についてですが、実は男性の顔の描写率が減ると性器の描写率が上がってくるという、「第二の顔」だったりします。その描写率も低いということで、また、女口→男、女乳→男も低いと言うことで、**スクール水着は『見て触って愉しむもの』**であると考えられます。先ほど見たように受けの服装であるという結果もありますし、スク水娘に奉仕されたい!というよりも、**スク水娘を触りたい! ぺろぺろしたい (^ω^)! その反応が見たい!**という願望がエロマンガ怪にはあるのではないのでしょうか。

また、他の服装と同時に描かれることは少ない……というよりほとんどないと言えます。かろうじて、制服とは多少の関係もあるようですが、制服からスク水、もしくはスク水から制服への換装シーンが描かれている結果であると考えられます。たいていが20ページ程度であるエロマンガにおいては描けるテーマは少ないでしょう。そう考えると、服装のバリエーションは狭くとも、一点突破をしていくのが戦略的に正しいと思われれます。

また、面白い辺りとしてはカラーページが0であること……これは季節的な問題もあるので、夏のマンガでしたらカラースク水もあるのかもしれませんが。また、精液描写が少ないのも、純粹に触ったり舐めたりするシーンの多さを感じさせます。

後背位の少なさについても考察としては面白い部分ですね。**後ろ側 = 背中や尻よりも、前側 = 胸やお腹にスク水のフェティッシュ的魅力がある**のだと考えられます。



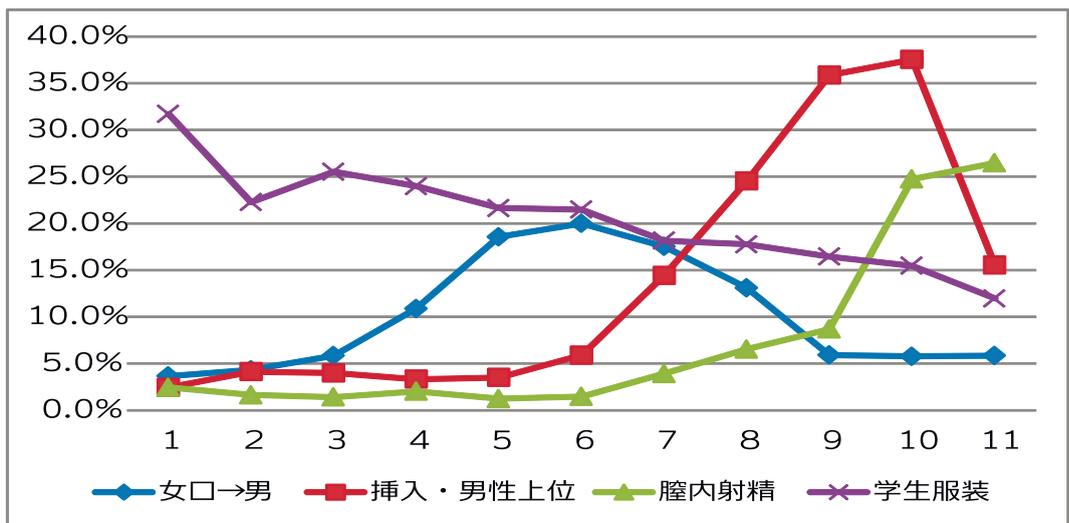
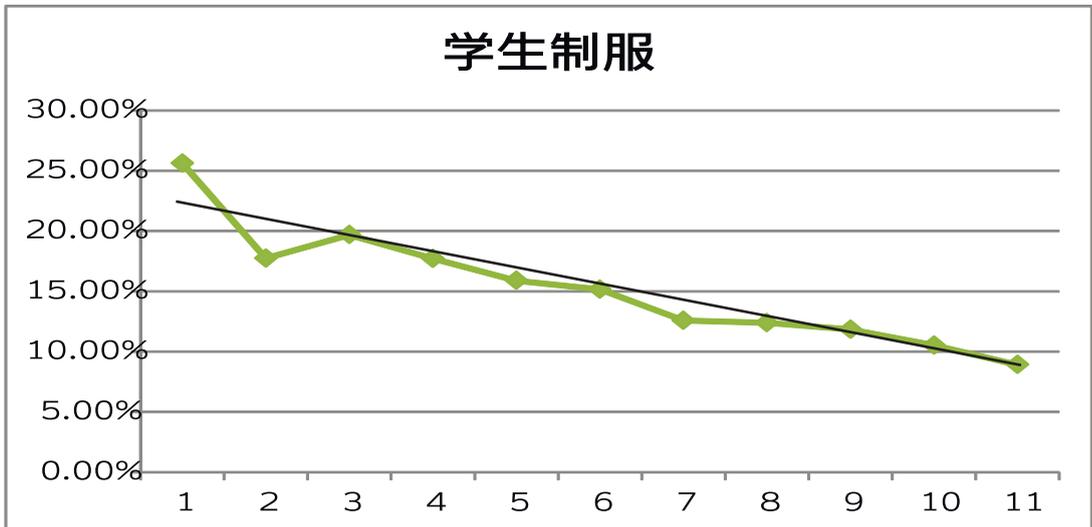
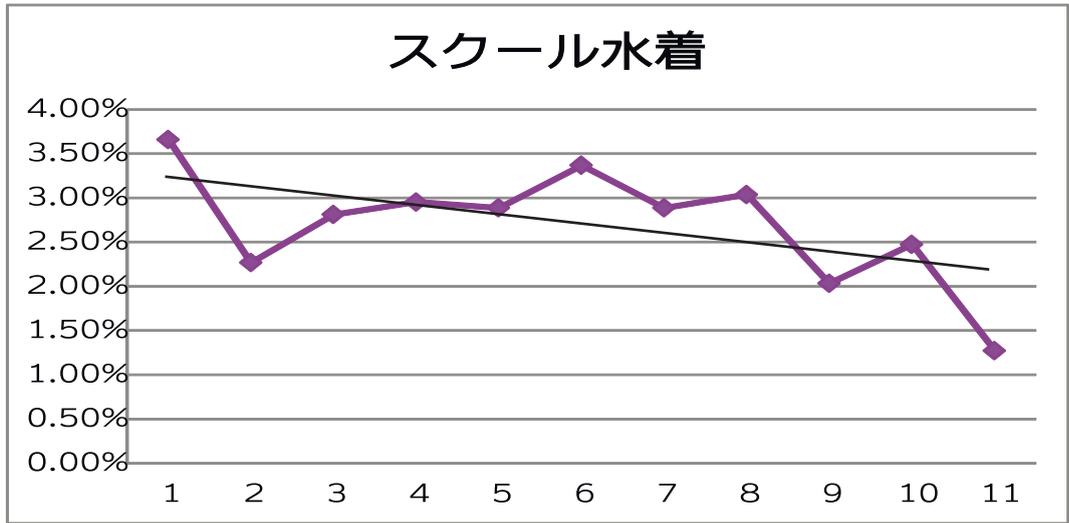
描写率の推移 物語進行と描写の変化

色仕掛けの冒険に今日も旅立つ者がいる！
あらゆる困難を乗り越えて服を剥ぐ冒険者

続いては物語の進行に合わせての変化を見ます。全体を11の区分に分けて、序盤→中盤→終盤の順番で、どのように物語が変化していくのかを見ております。縦軸に書かれている数値が各グラフで違うので、そこはご注意ください。

まずはスクール水着のデータですが、序盤で落ちてから中盤でまた上がり、そしてラストに向かって下がっていく結果になっています。サンプル数が少ないということもあり、簡単に%が動いてしまうため、上下動が不規則になるのは多少仕方ないのです。そのため、グラフには線形近似曲線を追加してあります。黒い直線がその近似曲線で、「だいたい平均するとこんなもんじゃね？」ということを示しています。それを見ると全体的には下がっていった、という流れがあると推測できます。さらにわかりやすいのが制服のグラフ。こちらは冒頭から右肩下がりで近似曲線ともほぼ重なっており、脱いでいくのがよくわかります。**スク水にしる、制服にしる、こうして処女性の象徴を徐々に脱いでいくことで、エロスを表現している**のだと思われます。たとえば言うなら、最初から見えているぱんつよりも、見えそうで見えないぱんつの方がドキドキするのと同じようなものです。もっと言ってしまえば冒険物語と近く、**密かに眠る秘宝 (= 女体) を獲得するために困難 (= 犯してはいけない禁忌としての処女性) を乗り越えていく、という獲得の物語**としての側面が、エロマンガにはあるのだと考えています。

それを確かめるために、他の性行為要素と組み合わせたグラフを作成いたしました。なお、学生服装は、制服 + スク水 + 体操服の合計です。この折れ線グラフを見ると学生服装については徐々に下がっていく右肩下がりの形が見え、徐々に脱いでいることが窺えます。また前戯行為代表の代表である女口→男は中盤を頂点とし、そして終盤で挿入・射精が上がるという形になっています。やはり上記で述べたように、スク水を含めた学生の服装は脱がしていき、服の内側にある性的なものへアクセスしていくことへの欲求があるのだと考えられます。



多変量解析 数量化3類

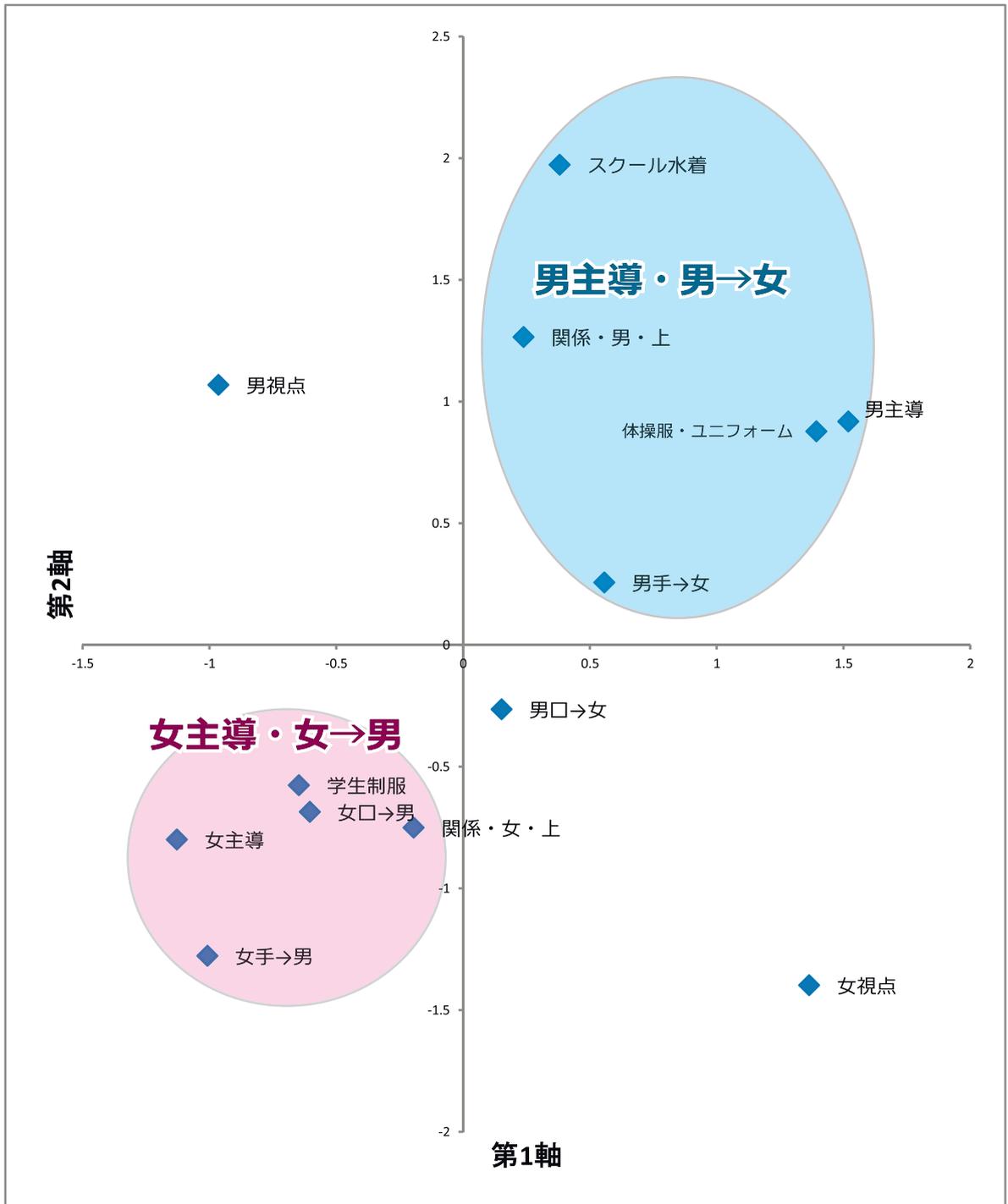
きっと制服フェチのお前たちに告げる 服装別攻め方・攻められ方の違い

ラストは、全体のデータ傾向を見るために、多変量解析を行いました。理論的には色々あるのですが、簡単に言うと「似たようなデータをまとめるための手法」であり、全体を俯瞰するための統計手法です。

グラフの見方としては、例えば左下にピンクで囲ったグループがありますが、女口→男、女手→男、女主導、などがまとまっていたため、「これらは似たような出現の仕方をするデータだな……よし、まとめて同じグループにしてやろう」という形でこちらが設定したグループです。数値的な根拠？んなことどーでもいいんだよ！……という乱暴すぎますが、本当にわりとどうでもいいのがこの手法の特徴です。

さて、中身としては、大きく二つのグループに分けることができました。一つは先ほども見た女主導のタイプ……例えば**女の先輩キャラや女性教師キャラが男を攻めていくタイプの物語**です。もう一つは右上、男主導グループです。こちらには男手→女や、関係性で男が上の立場という形で、**年上の男が年下の女の子に「ここがええのんか？」などとやっているタイプの物語**だと推測できます。こんな二つのグループに大別しましたが、今回注目したいのは、各学生服装で、どのような描かれ方の差があるのか、ということです。

まずグループとしてはセーラー服などの制服は女性主導のグループ、体操服、スクール水着は男主導のグループに属しています。スクール水着は受けの服装だと先述しましたが、ここからもその傾向が窺えます。また、体操服は男主導にかなり近いですが、スクール水着に近いのは、関係性が男が上であるパターン(男が上司・先輩・教師)であったり、またx軸座標で見た時に男からの愛撫が近いという差が見えるのも面白い結果です。**セーラー服娘からは奉仕されたい、体操服娘は男主導でガンガンいきたい、スクール水着娘は触りたい舐めたい**、という違いが統計的に見えてきました。こういったフェティッシュが生じる原因は何なのか、その因果関係なんかについてもそのうち分析してみたいですね。



	固有値	寄与率	累積寄与率
第1軸	0.4067	15.24%	15.24%
第2軸	0.3120	11.69%	26.93%

ふろく：調査対象

知らなくても特に困らないですが、念のため、集計基準などを載せておきます。気になる方はご参照ください。

▽調査対象

日本出版「雑誌のもくろく」に載っている成人向けマンガ雑誌、男性向けマンガ雑誌、またとらのあな秋葉原店、アニメイト秋葉原店の店頭に並んでいるマンガ雑誌、および Amazon.co.jp のアダルト向けマンガ雑誌のうち「成人向けマーク」が表紙に記されている雑誌および表紙がビニールテープで封印されている雑誌をエロマンガ雑誌と定義する。

エロマンガ雑誌のうち、2011年2月に購入することができる59誌から Amazon の売り上げランキング上位5誌と、それ以外の49誌から10誌をランダムサンプリングして集計。

雑誌の中でも、目次に載っていない作品(宣伝のためのマンガなど)および性に関する描写(粘膜の接触もしくは性器の露出)が一切ない作品は除外し、245作品、4828ページを調査対象とする。、ページごとの分析を行うため、1ページずつ、各カテゴリーについてあり/なしをカウントした。

※調査対象雑誌名

【Amazon ランキング上位雑誌(ランキング順)】

COMIC LO コミックメガストア COMIC 天魔 Comic MUJIN Comic RIN

【ランダムサンプリング群】

ANGEL 倶楽部 COMIC 阿咩 COMIC 華漫 コミックメガミルク バズーカ ペンギンクラブ
ポプリクラブ 快樂天 純愛果実 二次元ドリームマガジン

▽集計方法および分析方法

以下のカテゴリーについて、基本的にあり/なしを判断し、集計していく。例えば「男顔」のカテゴリーであれば、男性キャラの顔が描かれている場合にカウントする。これを各ページごとに行っていく。

分析には、基本的に Excel2010 の基本機能およびアドインソフト「エクセル統計 2008」を使用する。

【基本項目】

▽タイトル

目次に載っているタイトルを記録する。

▽ページ数

本編が何ページで構成されているかを記録する。

▽カラーページ

マンガの一部にカラーページが含まれているかを集計する。全部がカラーでなくとも良い。

【感情・行動】

▽好意：男 / 好意：女

「愛している」「好きだ」という、相手に対して恋愛的文脈で好意を寄せている台詞を明確に言った場合をカウントする。薬物等で自由意思が奪われている場合もカウントする。ただし、性行為が好き、性器が好きなど、相手の人格に対する好意ではない表明はカウントしない。

▽嫌悪：男 / 嫌悪：女

「嫌いだ」「気持ち悪い」など、相手に対して嫌悪の感情を明確に表明した場合にカウントする。「いやぁん」など、本気で嫌がっていないことが文脈から読みとれる場合などはカウントしない。

▽恥：男 / 恥：女

「恥づかしい」という台詞を表明した場合、かあああ、という効果と共に赤面した場合をカウントする。ただ単に赤面している場合はカウントしない。(恥と興奮を識別するため)

▽抱擁・男から / 抱擁・女から

相手を抱き寄せる行為をカウントする。基本的に相手の前から背中に腕を、もしくは後ろから胸に腕を回して、身体を密着させている状態をカウントする。性行為の最中(座位などで抱き寄せている状態)でもカウントする。ただし、ただ単に相手を拘束している状態(腕を押さえるだけで体が密着していない状態)などはカウントしない。

▽キス・男から / キス・女から

唇同士が接触している状態をカウントする。そのキスの主導権があった性別をカウント。双方の合意で行われている場合は男女ともにカウント(典型的には結婚式でのキスなど)。偶然に唇が触れる場合については、集計を試みたが、例が1件もなかったため割愛した。

【拘束・暴力】

▽男・身体拘束 / 女・身体拘束

キャラクターが身体的に拘束されている場合をカウント。ロープ、拘束具、薬物、魔法などを典型とする。性行為を行う本人が手で動きを抑える等の行動は拘束には含まない。ただし、手足を押さえる役など、拘束用の人員を配置している場合は身体拘束に含む。

▽男・精神拘束 / 女・精神拘束

キャラクターが性行為を行う方向へ精神的に拘束されている場合をカウント。脅迫など、性行為を行わないと不利益になる場合を典型とする。経済拘束と重複する場合もある。

▽男・経済拘束 / 女・経済拘束

キャラクターが性行為を行うことに対して経済的な拘束を受けている場合をカウント。性行為の対価として金銭が支払われる場合を典型とする。性風俗店でのサービスなど、精神的な拘束は受けていないが経済的に拘束されている場合はありうる。

▽男・薬物 / 女・薬物

キャラクターが性行為を行うことに対して薬物・催眠・魔法など、相手の自由を奪う手段が用いられている場合をカウント。媚薬、惚れ薬、睡眠薬などを典型とする。

▽攻撃・男へ / 攻撃・女へ

キャラクターに対して別のキャラクターから素手あるいは武器を用いて物理的な攻撃が行われた場合をカウント。ダメージについては問わず、ギャグ的な攻撃も含めてカウントする。転倒などの事故についてはカウントしない。

【身体】

▽男顔 / 女顔

キャラクターの顔が描かれている場合をカウントする。基本的には眼・口が見えている場合を顔としてカウントする。ただし、本来眼がある部分が別のモノ(目隠し・前髪など)で隠されて見えなくなっている場合についても顔が描かれているとカウントする。

▽男下着 / 女下着

キャラクターの下着が描写されているかどうかをカウントする。パンツおよびブラジャー、またはそれに相当する肌着を身につけている、および着かけ・脱ぎかけの状態をカウント。キャラクターから完全に離れている下着はカウントしない。

▽男胸部 / 女胸部

キャラクターの胸が描かれている場合をカウント。基本的に乳首、もしくは乳首があるべき場所が露出している場合をカウントする。胸の全部が露出していなくても、乳首が露出している場合は描写されているとカウントする。

▽男性器 / 女性器

キャラクターの性器・陰毛が描かれている場合、または性器のある部位を描いていると想定されるが、修正等で見えなくなっている場合をカウントする。修正の濃さ・薄さは問わない。

【性行為】

▽男2人 / 男多数 / 女2人 / 女多数

性行為に参加しているキャラクターの人数をカウントする。ここでの性行為とは、身体の直接接触または道具を用いての接触をしている / しようとしているなど、直接参加している場合を指し、ただ単に見ているだけの状態は含まない。2人、3人以上を区別してカウントする。

▽男手→女 / 女手→男 / 男足→女 / 女足→男 / 女手→女 / 女乳→男

キャラクターの愛撫行為についてキャラクターの性別、その使った部位、対象の性別をカウントする。触れる場所は性器およびその周辺、尻、肛門、乳首、乳房を対象とし、腕や肩、口、足などは含まない。どの部位に触れていても、手で触れている場合は手、足で触れている場合は足でカウントする。また女性が乳房で相手の性器などを愛撫している場合もカウントしていく。

▽男口→女 / 女口→男 / 女口→女

キャラクターの口、唇および舌を使った愛撫行為について、行ったキャラクターの性別、および対象の性別をカウントする。触れる場所は基本的に問わず、腕や足なども含む。ただし、口に対する口の愛撫はキスと判断し、ここには含めない。

▽男玩具→女 / 女玩具→男 / 女玩具→女

キャラクターがバイブレーターやローターなどの玩具を使って性器および肛門、乳首などを愛撫した場合をカウントする。玩具でなくても、棒、文具、野菜などを挿入する描写がある場合はカウントする。ただし、生物(触手など)については玩具として扱わない。

▽挿入・男性上位 / 女性上位 / 後背位

男性器を女性器に挿入する際の男女の位置関係をそれぞれカウントする。男女が正対し、相対的に男性が覆い被さるような体位になっている場合、いわゆる正常位を男性上位としてカウント。側位については、基本的に男性上位として集計する。相対的に女性が上になっている場合、いわゆる騎乗位を女性上位として扱い、座位は女性上位としてカウントする。また上下の区別なく、男女キャラが同じ方向を向いている場合、女性キャラの背中側から挿入している場合を後背位として扱う。側位も後ろから挿入していると判断できる場合については後背位として集計する。背面座位などの体位については、女性上位と後背位を同時に集計する。

▽挿入・肛姦

女性の肛門に男性器を挿入している場合を集計する。体位については問わない。

【服装】

▽学生制服 / 体操服・ユニフォーム / スクール水着 / 職服

女性キャラクターの服装について集計を行う。各カテゴリーの服装について、全部または一部を着衣している場合を集計する。上着・スカート・ズボンに類する物を服装と扱い、靴下やアクセサリーについては服装として扱わない(制服を脱いでいき、靴下のみ着用している状態になったら制服着用と見なさない)。セーラー服、ブレザーなど、中高生の制服またはそれに類するものについては学生制服と判断する。ブルマ・スパッツ・短パンまた体育会系部活動のユニフォームなど、学生が運動用に使う衣装は体操服として扱う。スクール水着・競泳水着はスクール水着として扱う。メイド服、看護師の服、スーツなど、その職業に就いていることが明確に分かる服装を職服として集計する。

【台詞等表現】

▽性経験なし言及

作品の中で女性キャラクターに性経験がないことが明示された場合にカウントをする。「処女」「初めて」という言葉での表現を基本とする。慣れていない、などの場合はカウントしないが、破瓜血などが描写され、性経験がないことが明らかな場合はカウントする。

▽低年齢禁忌 / 既婚禁忌 / 関係性禁忌 / 場所禁忌

性行為をしてはいけないという意味で「こんなことをしてはダメだ」や性行為を「してしまっている」などの禁忌に触れている、という表現についてカウントする。低年齢は、「こんな年下の相手と性行為をしてしまっている」「●学生なのに…」という禁忌を、既婚は「相手は人妻なのに…」「私には夫が…」という禁忌をカウントする。関係性については、血縁など「兄妹でこんなこと…」また「生徒とこんなこと…」という台詞等をカウントし、場所は「こんな場所で…」という禁忌感情の表現をカウントする。

▽淫乱指摘

女性キャラクターに対して淫乱だ、という指摘が行われた場合にカウントする。「こんなに濡らして…淫乱な女だな!」「かわいい顔なのにこんなに…」などの台詞が対象。ただしモノローグは除く。

▽男性器名称 / 女性器名称

女性キャラが性器の名称を口にした時にカウントする。男性器は「おちんちん」「ちんこ」「ちんぽ」「ペニス」、女性器は「まんこ」を基本とする。描き文字、写植を問わずにカウント。また、伏せ字で名称の一部が隠れていてもその語が連想できる場合はカウントする。

【エロ表現記号】

▽母乳

女性キャラが胸部から母乳を出している場合をカウントする。妊娠出産の有無を問わない。台詞などでの言及が無く、汗等と区別がつかない場合はカウントしない。

▽愛液

女性キャラの女性器が愛液で湿っている、という表現がされている場合を集計する。下着越しに垂れてくる描写や、愛液が指、道具、男性器等に付着している場合も集計する。

▽記号

女性キャラの台詞中にハートマーク(♥)、星マーク(☆)、音符(♪)、などが含まれ、通常の声ではない、という表現がされている場合をカウントする。描き文字、写植を問わない。

▽描き文字

女性キャラクターの台詞が写植ではなく、手書きまたは手書き風に描かれ喘ぎ声がさらに乱れている、という表現についてカウントする。

▽アヘ目

女性キャラクターの瞳が焦点の合わない状態で上を向き、瞳のラインの下半分が見えている状態をアヘ目と判断してカウントする。

▽涙目

女性キャラクターの目から涙が流れている、または目尻に溜まっている状態をカウントする。汗等と区別できない場合はカウントせず、また、潤んでいるだけの状態はカウントしない。

▽舌出し

女性キャラクターが舌を突きだし、唇の上よりも先に舌が出ていると判断できた状態をカウントする。フェラチオや食事シーンでも集計する。

▽断面図・透過図

挿入シーンなどで、女性器内、肛門内などの身体の内側を描いている表現をカウントする。フェラチオなどで喉の奥が透過されている場合も同じようにカウントする。

▽触手・異生物

女性器・女性の肛門・口内に人間ではない生物の一部または全部が侵入している場合をカウントする。獣姦を含み、生物の部位は性器、舌、その他の部位を問わない。また生物の存在、非存在は問わない。

▽腔内射精 / 口内射精 / 肛門射精 / 体外射精

男性器から精液が射精されたシーンを集計する。射精された瞬間のコマをカウントし、射精後に漏れているだけの状態はカウントしない。射精の瞬間は「ドクッ」「ドピュ」などの擬音で判断していく。射精した場所によって、腔内、口内、肛門内を集計し、それ以外のものについては体外射精としてカウントする。コンドーム等の避妊具を使った場合は、射精した時の場所、例えば腔内に挿入していた時に射精した場合は腔内射精として集計する。

▽精液

精液が描かれているかどうかを集計する。射精した瞬間でなくても、身体などに付着している状態も合わせて集計を行う。

【関係性】

▽男視点 / 女視点

物語が主にどちらの性別の視点で展開されるのかを判定する。冒頭のモノローグ、心理描写等を判断の基準とする。男視点・女視点のどちらで描かれているかを集計。

▽関係・男が上 / 関係・女が上

男女の社会的な関係がどうなっているかを集計する。個人の力関係ではなく、外から肩書きを見たときにどう見えるのかを判定する。例えば「教師と生徒」の場合は「教師」が上、「親と子」では親が、「年上と年下」では「年上」が上とする。

▽男主導 / 女主導

性行為が開始される際に、どちらの性別が主導したかを集計する。性行為に誘った、襲いかかった人間、売春の客、見返りとして性行為を要求した人間を典型的な主導権を持つものとする。途中で立場の逆転が描かれていても、最初の主導権がどちらかにあるかを集計する。物語中で連続しない性行為が描かれている場合は複数集計するが、連続している場合と見なされる場合は最初のみを記録する。

エロマンガ統計シリーズ EX
スク水統計

発行サークル でいひま
<http://ventdejade.seesaa.net/>
発行人 牧田翠
<http://twitter.com/MiDrill>
2011年8月7日 公開

すくうみうぎ様
「2011 スク水自由作品コンテスト」出品作品
<http://sukumiu.blog99.fc2.com/>

【あとがき】

今回は「スク水&伝えたい想い」というテーマで作品を募集されていまして、『実はスクール水着にはこんなデータの傾向があるんだよ！統計って面白いね！』ということ伝えたいという、ルールを外れた作品になっております。

こんな世界もあるのだなあ、と感じていただければ幸いです。

規制論なども飛び交う昨今ですが、皆が印象論だけで語り、なかなか客観的に語れていないことに、もやもやしたものを感じています。そこに数字でデータを出すことで、客観的に、俯瞰的に、全体を見ていただければと思っています。何かございましたら、お気軽にご質問くださいませ。

牧田翠

©2011, サークル「でいひま」, some rights reserved.